



●拠点の配置…「核」

◆都市機能集積拠点
都市機能の集積状況により鉄道駅周辺を分類します。

- ◇広域複合拠点
- ◇広域生活拠点
- ◇広域行政拠点
- ◇地域生活拠点

◆水と緑の拠点

葛飾区の個性・魅力を発信する核となる資源により分類します。

- ◇文化・レクリエーション拠点
- ◇アメニティ拠点

●ネットワークの形成…「連携」

◆都市間・地域間ネットワーク(交通系)

広域の都市間、区内の拠点、地域間をつなぐ都市の骨格として形成します。

◆水と緑のネットワーク(自然系)

水と緑の拠点相互の連携や歩行者・自転車中心のネットワークの骨格として形成します。

身近な生活圏の概念図

都市計画マスタープラン実現の方策

実現方策の基本的な考え方

●パートナーシップ型まちづくりの実績
葛飾区では、都市計画マスタープランに掲げた「まち」の実現を図るため、区民、民間事業者等、行政の3者協働によるパートナーシップ型まちづくりを実践します。

●街づくり推進条例の活用によるまちづくりの実績
葛飾区では、「葛飾区区民参加による街づくり推進条例(平成18年10月)」を制定し、区民、民間事業者等、行政の役割を明らかにするとともに、区民が街づくりに参加するための手続きを定めました。今後、「葛飾区区民参加による街づくり推進条例」の活動支援の充実・強化を図り、区民主体によるまちづくりを一層推進します。

区民が主体的に取り組むパートナーシップ型まちづくりの推進・支援

区民が主体性を発揮できるまちづくりの推進と支援を行います。

- まちづくりに関する情報の提供・共有化を図ります。
- まちづくりを担う地域の人材の充実に努めます。
- まちづくり組織等の育成、その活動への支援を強化します。
- まちづくり組織相互のネットワーク化を推進します。
- 総合的なまちづくりの展開を図ります。

都市計画マスタープランのフォローアップ

今後の社会経済情勢の変化などに柔軟に対応し実効性のある方針とするため、随時、まちづくりの進捗状況や新たなまちづくりに関する施策などを、多様で多世代にわたる区民の参画のもとにチェックし、パートナーシップ型まちづくりの推進に結びつけていくことができる仕組みや体制を構築します。

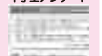
- 全体構想の主な方針ごとに、評価対象となるモデル施策を選定し、モデル施策推進プログラムを作成し、進行管理します。
- 地域別構想におけるまちづくりの方針に基づき、具体的な事業・計画プログラムを作成し、取組熟度による進行管理を行います。
- 全体構想、地域別構想のフォローアップを適切に行うため、「(仮称)まちづくりフォーラム」の開催や、地域別勉強会を母体とした組織の活用を検討します。



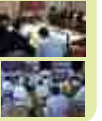
ミニシンポジウム



中学生アンケート



地域別勉強会



表紙のイラストは、「川の手・人情都市 かつしか」をコンセプト(概念)として、大生丸、入道生活、人と産業(体・魂)の自然が手をつないだ愛を象徴的にデザインしたものです。
そして、川の手都市計画マスタープランから始まる葛飾の未来への飛躍を水の満ちぎりで表現しています。
イラストレーター：江口修平

葛飾区 平成23年7月
発行 葛飾区 〒124-8555 東京都葛飾区立石5-13-1 TEL 03-3695-1111 http://www.city.katsushika.lg.jp
編集 葛飾区 都市整備部 街づくり調整課
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

安心して住み続け動き続けられる 川の手・人情都市 かつしか

葛飾区都市計画マスタープラン

(葛飾区都市計画に関する基本的な方針)

都市計画マスタープランとは
20年先の将来を見据えたまちづくりの総合的な指針として、都市計画法(第18条の2「市町村の都市計画に関する基本的な方針」)に基づき、区民と行政が協力して策定しました。

まちづくりの目標年次
平成42年(2030年)

まちづくりの基本理念
葛飾区は、「水と緑ゆたかな心ふれあう住みよいまち(葛飾区基本構想)」の実現に向けて5つの基本理念を定めました。

- みんなで創る 誰もが安心・安全に暮らせるまち・かつしか
- みんなで創る 地球環境に優しい潤いのあるまち・かつしか
- みんなで創る 歴史・文化が息づくまち・かつしか
- みんなで創る 生き生き住み働けるまち・かつしか
- みんなで創る 若者・ファミリーが魅力を感じるまち・かつしか

まちづくりの目標
5つの基本理念に基づき、豊かな水と緑に囲まれ、歴史や文化が息づく中で、新たな文化や活力を生み出し、さらにそれを持続・発展させることで、子どもから高齢者まで、このまちに住み続けたい人誰もが安心して生き生きと暮らし続けられるまちづくりを目指して「安心して住み続け動き続けられる 川の手・人情都市 かつしか」としました。

全体構想

川の手・人情都市 かつしかのまちづくりは、たて糸である5つの「都市構造整備の方針」と、よこ糸である6つの「川の手・人情都市 かつしかを形成する方針」をそれぞれ編み込んで、人・生活・環境に思いやりながら推進します。

新たなまちづくりの視点

- ◆コンパクトなまちづくり
- ◆メリハリのある市街地形成
- ◆土地の高度・有効利用を図る地域
- ◆ゆとりある土地利用を図る地域

◆震災に対応したまちづくりの方針

将来都市構造の考え方

「並立する各拠点とそれらをネットワークで結び、有機的に連携させる」という考え方に基づき、拠点を配置し、ネットワークで結び、身近な生活圏で形成する「分節型・多核連携型」の都市構造を構築します。

地域別構想

水元地域

水元川沿いの緑地を軸に、緑地・水辺の魅力を最大限に活かしたまちづくりを目指す。

- ① 緑地帯を軸としたまちづくり
- ② 水辺の魅力を最大限に活かしたまちづくり
- ③ 緑地帯を軸としたまちづくり
- ④ 水辺の魅力を最大限に活かしたまちづくり



坂元・高神地域

緑地帯を軸としたまちづくりを、水辺の魅力を最大限に活かしたまちづくりとする。

- ① 緑地帯を軸としたまちづくり
- ② 水辺の魅力を最大限に活かしたまちづくり
- ③ 緑地帯を軸としたまちづくり
- ④ 水辺の魅力を最大限に活かしたまちづくり



亀野・真戸地域

緑地帯を軸としたまちづくりを、水辺の魅力を最大限に活かしたまちづくりとする。

- ① 緑地帯を軸としたまちづくり
- ② 水辺の魅力を最大限に活かしたまちづくり
- ③ 緑地帯を軸としたまちづくり
- ④ 水辺の魅力を最大限に活かしたまちづくり



南総瀬・お花茶屋・堀切地域

緑地帯を軸としたまちづくりを、水辺の魅力を最大限に活かしたまちづくりとする。

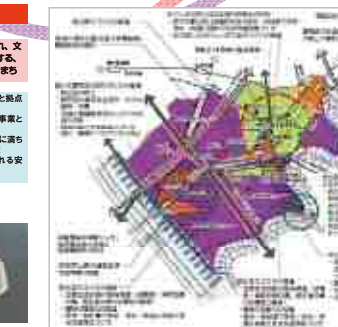
- ① 緑地帯を軸としたまちづくり
- ② 水辺の魅力を最大限に活かしたまちづくり
- ③ 緑地帯を軸としたまちづくり
- ④ 水辺の魅力を最大限に活かしたまちづくり



立石・回つ木地域

区の中心部として発展させ、文化と暮らしを大切にするまちづくりを目指す。

- ① 区の中心部として発展させる
- ② 文化と暮らしを大切にする
- ③ 緑地帯を軸としたまちづくり
- ④ 水辺の魅力を最大限に活かしたまちづくり



地域別構想

奥戸・新小岩地域

駅周辺の魅力的な広域複合拠点の形成と水辺を活かしたまちづくりを目指す。

- ① 魅力的な広域複合拠点の形成
- ② 水辺の魅力を最大限に活かしたまちづくり
- ③ 緑地帯を軸としたまちづくり
- ④ 水辺の魅力を最大限に活かしたまちづくり



地域別構想は、区域を7つの地域に分けて、それぞれの地域の特性や課題を踏まえたまちづくりの方針を示しています。

